

.....

**館園名** : 高知県立のいち動物公園

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・ 1991 年 11 月 03 日

**所在地**

・ 〒 781 - 5233 高知県香美郡野市町大谷 738

**公式サイト**

・ <http://www.noichizoo.or.jp>

**設立主体**

・ 野市町

**運営主体**

・ 野市町

**設立目的**

・ 「人も動物もいきいきと」を合言葉に、動物の自然の姿をできるかぎり再現した動物園をめざす。

**展示概要**

・ さまざまな動物の展示。

**活動概要**

・ 動物の展示のほか、「動物科学館」にて、さまざまなメディアを使って、自然科学や動物について学ぶことができる。他、売店、レストランなど。

**延床面積**

・ m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・ 名（ 年 月現在）

**年間運営費**

・ 円（2003 年度）

**総資料点数**

・ 点（ 年 月現在）

**施設その他**

・

## 2. ボランティア活動 名称：のいち動物公園ボランティアーズ（NZV）

### 活動目的・経緯

- ・動物園と利用者の中に立って、動物園の行う事業を利用者に伝える。
- ・市民的な感覚からのモニターとしての活動と機能。
- ・飼育動物の観察やイベントの運営、利用者の案内など動物園事業の活性化。
- ・ボランティア自身の生涯学習の場。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 26(20) 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 11(2) 名、女性： 15(18) 名
- ・ 平均年齢 50(17) 歳：男性 60(18) 歳、女性 40(17) 歳
- （ ）内はジュニアボランティアーズ。

### ボランティア担当職員（2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称： 企画普及係 （6名）
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示動物の動物解説。
- ・ 動物公園内で行うイベントの協力
- ・ ふれあいコーナー、「リスの小道」への協力
- ・ 自主企画イベント（クイズラリー、どうぶつペンダント作り、どうぶつかみしばい等）の実施。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 園内の樹木へネームプレートをつける活動を行い、樹木名調査、プレート作成・取り付け、さらに園内樹木マップを作成した。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

- ・ <http://www.noichizoo.or.jp>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：展示動物の動物解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年 （2002 年より高校生ボランティアを導入）

◇活動人数

- ・ 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート② 活動名：動物公園内で行うイベントへの協力

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年 （2002年より高校生ボランティアを導入）

◇活動人数

- ・ 名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート③ 活動名：ふれあいコーナー、「りすの小道」への協力

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年 （2002年より高校生ボランティアを導入）

◇活動人数

- ・ 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

#### 活動個別シート④ 活動名：自主企画イベントの開催

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年 （2002年より高校生ボランティアを導入）

◇活動人数

- ・ 名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 高知県立文学館

**1. 施設の概要**

**開館年月日**

- ・ 1997年11月02日

**所在地**

- ・ 〒780-0850 高知県高知市丸ノ内1-1-20

**公式サイト**

- ・ <http://kochi-bunkazaidan.or.jp/~bungaku/>

**設立主体**

- ・ 高知県

**運営主体**

- ・ 財団法人高知県文化財団

**設立目的**

- ・ 高知県ゆかりの文学者の資料を調査、収集、および展示し、その業績を顕彰するとともに、県民の文学に対する理解と教養を深め、文化活動を支援するため。

**展示概要**

- ・ 図書、雑誌、軸物、草稿類、色紙短冊、版画、視聴覚資料、遺品、物品など、約4万点を収蔵。
- ・ 約40名の文学者の初版本、原稿、写真、遺品などを常設展示。

**活動概要**

- ・ 特別展図録、館報、記念講演集を発行。

**延床面積**

- ・ 2,748 m<sup>2</sup>

**全職員数**

- ・ 17名

**年間運営費**

- ・ 122,069千円(2004年度)

**総資料点数**

- ・ 約40,000点

**その他**

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：

### 活動目的・経緯

- ・ 芸術・文化の拠点としての県立文化施設活用の促進、および教育普及の延長線上に位置づけられるアウトリーチ活動の推進を目標として、2000年に財団法人高知県文化財団の管理する4施設（県立美術館、歴史民俗資料館、坂本龍馬記念館、文学館）で始まった文化施設等民活促進事業（カルチャーサポーター事業）として、活動開始。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 30名（2004年）
- ・ 男性：3名、女性：27名（2004年）
- ・ 平均年齢44歳：男性65歳、女性44歳（2004年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ ①催し物の受付、一括寄贈資料の整理

### 活動その他

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

- ・ 高知県下の朗読グループが参加する「文学館朗読の会」による、朗読会を月1回開催。
- ・ 自主上映会「小夏の映画会」と連携して、「日本文学原作映画上映会」を年3回開催。



## 活動個別シート 催し物の受付等の補助、一括寄贈資料等の整理補助

### ◇活動開始年

- ・ 2000 年

### ◇活動人数

- ・ 30 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 催し物の受付等の補助。
- ・ 一括寄贈資料等の整理補助。

### ◇活動日

- ・ 不定期に活動。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 予算 1,238 千円。
- ・ 備品・ボランティア室等なし。

### ◇運営 (シフト 等)

- ・

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 打合せ会を実施。

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 現在は募集を行っていない。

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費相当として、1 回の活動に千円支給。

### ◇評価

- ・ 職員で不足する部分の補助として、高く評価される。

### ◇課題と展望

- ・ 自主的な活動も展開させたい。

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 高知県立牧野植物園

**1. 施設の概要**

**開館年月日 (西暦)**

・ 1958 年 04 月 01 日 (1999年11月1日リニューアル)

**所在地**

・ 〒781 - 8125 高知県高知市五台山 4200-6

**公式サイト**

・ <http://www.makino.or.jp>

**設立主体**

・ 高知県

**運営主体**

・ (財) 高知県牧野記念財団

**設立目的**

・ 牧野富太郎博士の業績の顕彰、植物研究、憩いの場の提供、植物知識の普及。

**展示概要**

- ・ 植物 3000 種の植栽。牧野富太郎の植物画や直筆原稿など 58,000 点を収蔵した牧野文庫など。
- ・ 常設展示では、牧野富太郎を顕彰する展示を行う。
- ・ 企画展示では、年三回、植物又は牧野富太郎にかかわる企画展示。

**活動概要**

- ・ 上記の展示のほか、調査研究、アトリエ実習室、体験学習室、五台山展示室、映像ホール、ショップ、レストラン、牧野文庫、図書室など。
- ・ 各種講演会、体験教室などの開催。
- ・ 「牧野植物園だより」「Flora of Kochi (高知県植物誌調査ニュースレター)」「年報」などの発行。

**延床面積**

・ 7,347.06 m<sup>2</sup>

**全職員数 (常勤職員)**

・ 約 40 名 ( 2004 年 12 月現在)

**年間運営費**

・ 334,909,000 円 (2003 年度)

**総資料点数**

・ 170,000 点 ( 2004 年 12 月現在) \*植物の生体をのぞく

**施設その他**

・

## 2. ボランティア活動 名称：自然解説、植物調査

### 活動目的・経緯

- ・参加者に楽しみながら、自然を五感で体験してもらうことを目的とする。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 18 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 60 歳：男性 60 歳、女性 50 歳

### ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称： 企画教育課
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 1 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 自然解説。
- ・ 植物調査。
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 高知県植物誌作成のための野外調査を実施。

### 関連する出版物

- ・ 植物誌の進行状況を報告するニューズペーパー。

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

## 活動個別シート① 活動名：子ども自然体験教室

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

### ◇活動人数

- ・ 18 名（ 2005 年 1 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 親子を対象に、自然に親しむためのさまざまなプログラムを組み、活動。

### ◇活動日

- ・ 毎月第2日曜日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア活動に際し、材料費として年間に 108,000 円を計上。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 毎月1名が主となり、他が補助として活動。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 研修会を毎月実施。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ インタープリター通信を発行。HP 上でも随時募集。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎月1回、今後の活動についての研修を行う。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 謝金あり。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 活動メンバー。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート② 活動名：高知県植物誌調査

◇活動開始年（西暦）

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 210 名（ 2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 高知県の植物の調査。

◇活動日

- ・ 個別計画による。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 県予算。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 随時（植物の判別等）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険あり。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 高知県立歴史民俗資料館

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1991年05月03日

### 所在地

- ・ 〒783-0044 高知県南国市岡豊町八幡1099-1

### 公式サイト

- ・ <http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/>

### 設立主体

- ・ 高知県

### 運営主体

- ・ (財)高知県文化財団

### 設立目的

- ・ 県下の歴史・考古・民俗に関する代表的な資料を展示し、県内の「ふるさと文化の拠点」としての役割を果たすことを目的として設立。

### 展示概要

- ・ 収蔵資料総数約25,100点(歴史11,500点、考古6,600点、民俗7,000点)。
- ・ 総合展示室：高知県の原始時代から近現代までの代表的資料を展示。
- ・ 民俗展示室：県内の野・海・山の暮らしを紹介。

### 活動概要

- ・ 企画展示を年に3~4回開催。
- ・ 体験学習、各種講座を実施し、県民が「参加する博物館」として広く利用できることを目指している。

### 延床面積

- ・ 4,472㎡

### 全職員数

- ・ 21名

### 年間運営費

- ・ 182,000千円(2003年度)

### 総資料点数

- ・ 29,050点(歴史14,800点、考古6,750点、民俗7,500点)(2003年度)

### その他

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：カルチャーサポーター

### 活動目的・経緯

- ・ 2000 年度に研修スタート、2001 年度から本格始動。カルチャーサポーターは、来館者と館の架け橋となって館の活動をサポートすることを目的として結成されたボランティアである。カルチャーサポーターは、来館者の体験学習のサポートを中心とした活動で、当館の運営上必要な存在となっている。それとともに、当館ではカルチャーサポーターを新たな館の利用者としてもいちづけている。

### <※カルチャーサポーター事業について>

芸術・文化の拠点としての県立文化施設活用の促進、および教育普及の延長線上に位置づけられるアウトリーチ活動の推進を目標として、2000 年に財団法人高知県文化財団の管理する 4 施設（県立美術館、歴史民俗資料館、坂本龍馬記念館、文学館）で始まった文化施設等民活促進事業（カルチャーサポーター事業）として、活動開始。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 28 名（2003 年）
  - ・ 男性：10 名、女性：18 名（2003 年）
  - ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）
- ※統計はとっていないが、男性は 50 代以上が 10 人中 9 人と多く、助成は 50 代以下が 18 人中 16 人と多い。

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課 担当人数：常勤 1 名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ 来館者の体験学習のサポート（ワクワクワーク班、ぬくぬく民家班）

### 活動その他

- ・ 2 つの班があるが、お互いの活動に自由に参加し、協力しあっている。

### 関連する出版物

- ・ 年報（年間の活動を掲載した頁がある）。

### 関連するHP

- ・ <http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/>  
（カルチャーサポーターが作成したカルチャーサポーターの頁をアップしている）

### 館外組織（NPO等）との連携

・

## 活動個別シート 来館者の体験学習のサポート

### ◇活動開始年

- ・ 2000年

### ◇活動人数

- ・ 28名（2003年）

### ◇活動内容

- ・ 普及事業「竹で遊ぼう」「麦飯を炊いてみよう」など、ワクワクワークのサポート。
- ・ 登録文化財味元家旧住宅主屋のいろいろの火を焚くなど、民家保存活動。
- ・ 「火熾し」や「勾玉作り」など、学校団体の体験学習のサポート。
- ・ 特別展「あの世・妖怪・陰陽師」関連企画、「からくりまと」の運営。

### ◇活動日

- ・ ワクワークは年6～7回、土曜日に開催。民家保存活動は適宜。学校団体の体験学習のサポートは平日（2003年、計12回）。からくりまとは特別展開催期間中（7月16日～8月31日）連日延べ39日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 活動費として、年間460,000円を計上。ボランティア関連書籍などを揃えている。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ ワクワーク等あらかじめ年間の予定が決まっているものは「カルチャーサポーターの会」参加者を募集。
- ・ 学校団体等不定期のものは「カルチャーサポート通信」（ハガキ）で参加者を募集。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 「カルチャーサポーターの会」を、年4回実施。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 平日の学校団体の体験学習をサポートできる人が少ないので、HP等で募集をしている。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 財団がカルチャーサポーターを対象に行う研修に参加してもらう。
- ・ カルチャーサポーターの会では、館長や、歴史・考古・民俗各分野の学芸員が一講座を行っている。その他、実際の行事への参加を実地研修としている。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入（費用は館が負担）。交通費として、活動ごとに一律の費用を支給。

### ◇評価

### ◇課題と展望

- ・ 大人向けの講座などを望むカルチャーサポーターの声に、どのように応えていくかが課題。

### ◇その他

- ・ カルチャーサポーターの個別の部屋がないなど、受け入れ体制に問題が多い。